



# 週)報

2014~2015年度)) R I 会長)ゲイリー C . K .ホアン)  
R I のテーマ) 『ロータリーに輝きを』)  
地区のテーマ)))「行動) ACTION」) ガバナー)坂本元彦)

国際ロータリー  
第 2 5 7 0 地区

## 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14) TEL)04-2954-2511  
〔事務所〕〒350-1305) 狭山市入間川 1 -24-48) TEL)04-2952-2277) FAX)04-2952-2366  
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp  
会長)稲見) 淳) 会長エレクト)奥富喜平))副会長)坂本松男) 幹事)江原伸夫)

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)  
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

### 第 1006 回(8 月 26 日)例会の記録

点 鐘 稲見 淳会長  
合 唱 我らの生業  
第 2 副 S A A 栗原(成)君、益子君

#### 出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
38 名	31 名	80.56%	80.56%

#### 副会長の時間

坂本副会長



#### 「2020 年オリンピック開催に向けて」

今日は、2020 年開催のオリンピックについてお話しさせていただきます。

「TOKYO」、昨年 9 月 8 日早朝、国際オリンピック委員会総会での、ロゲ会長の一声に日本中が沸いてから、早や一年が経とうとしておりますが、東京でオリンピックが開かれるのは、1964 年以来 56 年振り、アジア初の 2 度目の開催となりまして、東日本大震災からの復興を、開催意義の一つに掲げ、過去の招致活動では見られなかった様々な、情熱的なプレゼンテーションなど、官民一体で他の立候補都市に圧勝し、競技場建設やインフラ整備選手の、育成強化外国からの観光客の受け入れなど様々な課題が待ち構えておりますが、1964 年に行われた東京オリンピックのときは、私はまだ 19 歳の若者であり、家にはテレビなど無く、まだまだ他のことをして遊んでいることが、楽しい頃でしたので、あまり関心ありませんでしたが、今回はあと約 6 年後という事で、私の年齢からして健康に留意していれば見られそうなので、オリンピックに向けて東京が日本がどのように進化していくのか、大いに感心を持ち新聞他テレビ等のニュースに注目して、私なりに東京オリンピック開催が非常に楽しみです

まずは、開催を決定付けたとも言われる IOC 総

会での、東京のプレゼンテーションから高円宮久子様は、流暢なフランス語と英語で、東日本大震災での各国の復興支援に謝意を表されました。パラリンピック陸上の佐藤真海選手は、故郷の宮城県が被災しながら「スポーツの力」で乗り越えた経験を熱弁され、更に、昨年の流行語大賞になった、ニュースキャスターの滝川クリステルさんは「おもてなし」という言葉で、日本文化に根付く精神を紹介されました。それから一年が経とうとしておりますが、まだ記憶に新しいことと思えます。

表現指導者であり、五輪招致や政財界関係者に自己表現を指導されている、マーティン・ニューマンさんは、2014 年 1 月 31 日(金)読売新聞朝刊論点の中で、東京五輪・パラリンピック招致で、プレゼンテーションの表現指導を担当した方で、今だから「東京は勝てると思っていた」という人がいるが、当初は勝利を想定するのが難しかった。東京は無難だが面白みに欠けていると見られていたからだ。課題は内なる情熱をどのように表現するかだった。

滝川クリステルさんの「おもてなし」が評判になったが、最終のプレゼンテーション登壇者で、最も成長が印象に残るのは、パラリンピック選手の佐藤真海さんだ。実はその表現は細部に至るまで計算している。例えば、彼女が癌で脚を失った体験を語った後、聞き手の不安感の増幅を狙って、丸々 3 秒間の沈黙を設けて、なお東日本大震災で 6 日間家族の生死が分からなかったことを回想し、言葉を途切れさせる部分もそうだった。そしてスポーツの力で取り戻した生きる喜びとその力を、被災地の人々に伝える活動を語る笑顔の佐藤真海さんの見事なスピーチと表現力が、東京招致に「なぜ」招致したいのか、何を世界に伝えたいのか、情熱が加わったとの評価もされております。佐藤真海さんのプロフィールは、1982 年宮城県気仙沼市で生まれ、現在 32 歳で 2001 年早稲田大学在学中に骨肉腫を発症し義足となり、その後陸上競技を始め 2004 年アテネ、2008 年北京、2012 年ロンドン

ドンと3退会連続でパラリンピック走り幅跳びで出場をして参りました。母から送られた「神様はその人に乗り越えられない試練は与えない」という言葉を大切に、サントリーホールディングスの社員として週5日間のトレーニングを欠かさず続けながら、これからも建物や交通インフラのバリアフリー化は進んで行くでしょう、でも大切なのは、心のバリアフリー化を通してより良い社会実現のお手伝いをしたいと話されておりました。一方おもてなしで脚光を浴びた滝川クリステルさん36歳は、忙しいさ中動物保護の財団を今年の5月に設立し、2020年には犬猫の殺処分・放棄・虐待ゼロ実現を掲げ、保護された犬が聴導犬や災害救助犬になる訓練を支援したり、保護された犬猫を預かるボランティアをバックアップする活動をなされております。また、東京オリンピック・パラリンピックの運営を担う大会組織委員会が、1月24日に森喜郎元総理を会長に発足し、選手側の代表としてハンマー投げの室伏広治選手が、スポーツディレクターとして組織委員に加わり、女性7人を含め34名の理事の方々、更に顧問会議には、安倍総理を議長とし、野球界からは王貞治さん、シドニーで女子マラソン金メダリストの高橋尚子さん、おもてなしをアピールした滝川クリステルさんらを始めとする多くの著名人170名の顔ぶれも決まり、オールジャパン体制が発足致しました。インフラ関係では、まず羽田空港の強化に繋げるため、都心上空の飛行制限を周辺住民の理解を得ながら、年間45万回から年2万5千回を増やし、47万5千回と年間発着回数が見込まれます。JRでは山手線の田町駅と品川駅との間に、30番目となる新駅を作り、更に約13ヘクタールの土地を活用し、高層ビル建設など再開発の計画もあり、今秋にも着工予定のリニア中央新幹線も、全線の86%がトンネルという工事も始まり、品川駅を始発駅として2027年には開業予定であります。東京都は品川駅周辺を国際ビジネス拠点に大規模開発等行うなどして、羽田空港と東京都心を現在の半分の20分ほどで結ぶ新線を開設するなど、訪日される外国人等の利便性も考慮されています

東京都は大会関係者の輸送に「燃料電池車」を利用する方針を固め、世界の注目が集まるオリンピック舞台で、究極のクリーンエネルギーとされる水素を活用し日本の先端技術をアピールする狙いだ。また、医療現場でも外国人の患者さんが来院された場合でも、スムーズに必要な診療を受けられるようにと、医療の国際化に貢献したいと国立国際医療センター総長春日氏は語っております。

ボランティアについては、大会期間中に東京を訪れる人は延べ1000万人を上回る見通しのため、通訳や誘導員等の80000人育成に乗り出すなど、道路標識や鉄道の案内板等、外国人観光客の方々にも分かり易い表記でおもてなしを考えており、総務省は外国人が観光地や病院などで意思疎通できるように自動翻訳システムを整備し、英語や中国

語で話したことをスマホなどを介して、瞬時に日本語の音声に変える技術を確認するなど、2015年度から実証実験を始めることとしております。

また、カジノについては「カジノ解禁法案」は、衆議院内閣委員会で審議入りしており、政府では2020年までに3か所前後のカジノの開設を認める検討に入っております。その経済波及効果は4兆円とも言われ、更に免税店も現在は国際空港や大都市の百貨店電気店に集中する免税店を、地方も含め2倍の10000店を目指し、更なる訪日客を伸ばす計画もあります。そうした話題が多い中でも、東京スカイツリーや湾岸開発が進む中で、下町と呼ばれる浅草においては、浅草情緒を内外の人々が魅了されており、築地市場の移転先となる豊洲の新市場の敷地内に、新鮮食材を味わえる飲食街や、首都圏最大級の露天風呂のある入浴施設などを備えた一大観光ゾーンが2015年度末に完成する予定であり、官民で外国人のおもてなしに力を注いでおります。

競技においては、選手村から8キロ圏内のコンパクト開催が「売り」のはずが、舛添都知事は建築資材の高騰などで倍以上に膨らむ可能性がある大会会場の見直しを発表、IOC調整委員長のジョン・コーンツ氏も会場の見直しを奨励し柔軟な対応をすべきだとの思いに至った。

東京都はその新方針の恩恵を感じていることだと思います。そうした施設計画見直しに対し「東京五輪我が街へ」と近隣県などが、競技場の誘致に名乗りを上げており、お隣の所沢市では、パラリンピック選手強化拠点として、国立障害者リハビリステーションセンター敷地内に、日本代表候補選手専用のナショナルトレーニングセンターを、建設するよう求める要望書を文化省に提出しております。

また数多くある競技の中で、2016年のリオデジャネイロのオリンピックから112年振りに復活する競技は、2020年のゴルフ競技で、開催会場は川越市の霞ヶ関カンツリー倶楽部に決定した。霞ヶ関カンツリー倶楽部は、1929年に開場した老舗のゴルフ場で、オリンピック会場としては唯一の民間施設であり、主な会場が都心部に集中する中、質の高い芝が評価されるなどして選ばれ、瀬戸支配人は大変名誉なことだと感慨深そうに話されてそうです。1957年に現在のワールドカップを開催し、日本オープンゴルフ選手権を過去4回開催されるなど、長い伝統と実績がオリンピック開催会場として白羽の矢が立った大会は、男女別々に1週間づつ行われ、男子の決勝は2020年8月4日(日)と決定しているという事で、男子の選手では松山英樹選手や女子では勝みなみ選手などが期待され、1日のギャラリーは2500人を見込み、大会期間中20万人以上のギャラリーが訪れるなど、今から期待が寄せられています。そのオリンピックが開催される霞ヶ関カンツリー倶楽部東コースを使用し、我が狭山中央RCのゴルフコンペ

が10月7日に開催されることになっておりますので、一人でも多く参加なされて、オリンピック競技を行っている気分を味わうのも如何でしょうか。あと5年11ヶ月となった2020年のオリンピック開催に向け、東京そして日本がどのように成熟した魅力ある都市に変貌遂げているか、非常に楽しみにしております。それまでは元気でいたいと思います。

## 幹事報告

江原幹事

1. 2014年度米山研修旅行について
2. 第1回R財団セミナー開催について
3. 地区補助金資金管理セミナー開催について
4. 地区青少年奉仕部門セミナー開催について
5. 米山梅吉記念館、賛助会入会のご案内&100円募金運動について
6. 「My Rotary」アカウント登録手引書の地区内活用依頼について
7. 例会変更 所沢中央RC 所沢RC
8. 受贈会報 入間南RC 所沢RC 入間RC  
新狭山RC 飯能RC 所沢西RC  
所沢中央RC
9. 回覧物 ハイライトよねやま173号  
学友会ニュース185号

## 《(会員3分間スピーチ)》

賣積克彦会員

心房細胞という心臓の病気の話です。

心臓は筋肉の袋で、左右の心房、左右の心室からできています。右心房に洞結節という刺激の司令塔があり、心房と心室にかけて房室結節という、その刺激を伝達する刺激組織があります。心房が収縮した直後に心室が収縮するシステムになっております。

心房細動とは心房が痙攣している状態で、脈拍も通常の倍くらいになるため、胸の違和感、胸苦しさを感ずります。しかし心臓のポンプとしての機能は、8割を心室が担っているので直ちに命にかかわる訳ではありません。しかし心房細動で血液を寝室に送り出しにくくなると、心房内に血液がよどんで脳梗塞を起こしやすくなります。

高血圧、ストレス、肥満の人は通常の人より脳梗塞を起こす確率が5倍になります。当クラブの平均年齢が67歳とっておりましたが、大体5~6%の人にそのような症状があるということが一般的です。気を付けて下さい。



## 委員会報告

R情報・雑誌) ) ) ) ) ) ) ) ) ) 若松委員長  
【横書】

3頁「RI会長メッセージ」には、配偶者をロータリーにということ、8月はロータリー拡大月間だということが書かれております。目を通してみて下さい。

6頁に、「ロータリーとは」ということが書かれております。新入会員の皆さんに特に読んで頂きたいと思います。

10頁のコーナーは、8月は会員増強拡大月間ということで、各全国のクラブの取り組み模様が書いてあります。下の方には「自転車レースでロータリーのPR」ということで、壱岐島RCの話が書かれております。清水会員が壱岐の出身ですので我々身近に感じますが、6名のロータリーの会員さん達の頑張る模様が書かれておりますので、是非読んでみて下さい。

16頁からは、シドニーで行われた国際大会の様子が色々と書かれております。20頁には日本の方が仲間から祝福をされ、晴れて結婚式を挙げたというニュースが書かれております。

32頁には、「ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識」奨学金制度編ということで、わかり易く書かれております。是非こちらも目を通して頂き、米山へのご理解を深めて頂けたらと思います。

【縦書】

13頁「友愛の広場」に、「91歳の現役ロータリアン」という記事が載っております。これは坂戸の方で、1994年-1995年度のガバナーをされた田中一郎さんのことを書かれております。もう91歳ですが、良い趣味を多くお持ちになり、未だにお元気だということで、何か長く続く趣味を持ちたいと思いました。

14頁の「クラブの会員」という記事の中程に、「私のクラブに25歳の青年が入会した。もちろん最年少の会員となったが、『手続要覧』に書いてある、入会金、年会費の免除をどうすべきか理事会で検討することもなく、請求書を発行し本人は入会金その他を支払った。『2013年度の手続要覧』には、過去発行されたものと違い、違和感を覚えている」ということに対して、色々とニュースが書かれております。当クラブにはあまり関係はありませんが、読んでみて下さい。

毎月、ロータリーの友の表紙のメッセージを見るのが好きなのですが、今回も会員さんが撮った「雷鳥」と「マッターホルン」の写真が載っております。雷鳥は1mくらいまで接近して撮った写真だそうですが、専門家が良い写真だと評価をされておりました。

)  
)

## パスト会長卓話)

守屋昭夫パスト会長

7月に卓話でとりあげました辻達彦氏の別の著書「全生学」の一部をご紹介しますと思います。御笑読下されば幸いです。



### 「全生学」考 辻 達彦著書より

年に二度ほど出している私の小文集である『越中島から』13号あとがきに、うっかり書いた全生学という表現に、予想外に反響があった。これは衛生学(生をまもる学)の対極としての全生学(生あるいは寿命を全うする学)という発想であった。その背景としては、畏友山本俊一博士(聖路加看護大学副学長)の提唱する「死生学」を意識していたことである。いわば瓢箪から駒が出た類ともいえるが、自分なりにこの問題に取り組むことにした。初めから系統だった理論は期待できないが、日本人らしい(無宗教とみられやすい)気持ちを並べて、整理してみたい。これが「全生学」考と題した所以である。

#### 1、老少不定(ろうしょうふじょう)ということ

人の命に限りがあることは、だれでも知っているが、老人だから先に死ぬとは限らず、若い人が死なないとも言えない。親よりも、子が病気で先立つこともあり、逆縁という言葉がある。昔から、人あるいは浮世は老少不定と言われてきたことを、現代でも改めて反省する必要がある。老人人口が増えて、長寿者の割合も多くなったが、一方では若い人の難病(白血病、エイズなど)が目立ち、悲劇は尽きない。また、天災、事故などによる不測の死亡は完全に防ぎ得る根拠は無いし、各人の運命はまちまちである。

#### 2、死生観の背景を探る

日本人がどんな死生観といえるものを持ってきたかを検討してみたい。そのためにはここで私自身の育った環境と体験を反省しておく必要がある。

私の父は陸軍軍医(日露戦役に従軍)上りで、明治末年から茨城県東茨城郡磯浜町で開業していた。現在の大洗町である。

家には神棚もあれば、粗末な仏壇といえるものがある。位牌が安置されていた。祖父の代から、神葬であるが、それ以前は日蓮宗であつたらしい。母は栃木県上都賀郡古峰神社の宮司の一族(石原氏)の出自である。

したがって、私の家は仏寺とは接触はなく、お盆などの行事とは無縁であった。

この事実は果たして、成育途上の物の見方に不利な条件であったかどうかは判らない。山国生ま

れの者が、海の近くに住みたり、あるいは海に近く生まれたものが、山にあこがれる例もある(私は後者に当てはまるが)。むしろ、仏教やキリスト教に関心を持つ契機ともなったような気もする。奇妙なことに、私も妻も同じフレンド派の牧師の経営をしていた幼稚園(年度は違うが)に通って、多少ともキリスト教の雰囲気になじんだことは潜在意識にあるかもしれない。したがって、クリスチャンではないが、英文、和文の聖書が数冊書架に収まっている。また、英文の仏教のバイブルのようなものを、1951年に留学のため、渡米したときに同船した千代田女学園の寺本慧達師から頂いている。その英文で読むと、仏陀の話が理解しやすいのに感心した。宗派を超越して、仏の教えを広める小型の基本書がなぜその当時わが国に無いのか不思議であった。その他、思い出したのは、旧制水戸高校のクラスメートの故石原尚君(千葉医大出身)である。彼はキリスト教の無教会派で知られた内村鑑三の熱烈な心酔者であった。その彼と寮生活で同室(二人部屋)で、8歳くらい年長の彼から、20歳前になにかと宗教的心構えを教えられたのは、有り難い体験といえる。

ひとりひとりの死生観というものは、その人の特に幼少時の体験と無関係ではなさそうである。私の場合、5歳の時に母をお産で亡くし、二つ下の弟と残された。間もなく、育ての母は現れたが、次第に周囲から継母ということをそれとなく教えられ、悲しみを知るようになった。

「死」というものを初めて認識したと言えるかと思う。母の臨終に立ち会ったかどうかは教えられていない。

父は昭和15年春に65歳で病死したが、私が東大医科を卒業したばかりで、うろたえ、臨終に間にあわぬ親不孝児であったことを自覚している。25歳にして、父母共になくすことは現在では稀であろうか。

#### (1)「天」を想う

古代中国には「天」という思想があった。「天は物理的現象としての天空を意味するほかに、あるいは自然の法則の儀に用いられることがあり、さらに転じては社会上における支配関係を示す語として用いられることさえある。これらは要するに天を非人格的な力あるいは作用とみるものであるが、それと同時に、他の一面において、天は宇宙の主宰または人格的な至上神という意味に用いられる場合が多い。天が運命の意味に用いられるのはこの意味からの引伸であろう。」これは竹之内静雄の『先知先哲』に見られる記載で原著は小島祐馬博士の『古代中国研究』からの引用である。

このような天の概念が歴史的に日本人の考え方に入り込んで来たものであろう。

#### A・天寿(天年、天命)

天から与えられた寿命(大字源)をいう。先日、出光美術館で見た仙厓の禅画展の中に、「双鶴画賛」と題するものがあつた。

その讃は

我は天年 かめは万年 つるは千年

これは流石にうまいものだと感心した、いうまでもなく、天寿では具合がわるい。これと関連して、思い出したのは『武玉川』に出ている一句である。

鶴の死ぬのを亀がみている

(武・10・24)

江戸人の皮肉これに極まる思いである。最近、やたらに天寿という用語が氾濫している。天寿かどうかは故人の決めることで、遺族の決めることではなさそうである。施設で哀れな死に方をして、葬式の通知に麗々しく「天寿を全うして」と書かれるのがおかしい。

### B・天明(天命)

天から授かった命令、天の示す明示・意向の意に用いられた例は、鷗外の名作『澀江抽斎』のみにみられる。

37年如一瞬。學醫伝業薄才伸。

栄枯窮達任天命。安楽換錢不患貧。

これは抽斎の述志の誌で天保12(1841)年の暮れに作ったものと鷗外は推定している。なお、年号としての天明は1781~1788の間であって、浅間山の大爆発や諸国大飢饉の発生など社会不安の激しい時代であるのは周知のことである。今から考えると、年号の暗示するものがあつたように見えよう。

最近の政権の交替劇で、ある保守党の有力政治家が「天命であれば…」と発言していたのが珍しかった。やはり、古い考え方が残っている証左かもしれない。

### C・訳語からみた「天」の考察

和訳された言葉として天が用いられるのはよくあることである。例えば、福沢諭吉の『学問のすずめ』の巻頭にある有名な

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云へり」という警句は、アメリカの独立にあたり、ジェファースンの書いた人権宣言の「人間は神の前に平等に造られている」にヒントを得たといわれる(『新潮日本文学辞典』1988)。格言の中で、天という表現のあるものは少なくはない。例えば、「天は二物を与えず」、「天は自ら助くるものを助く」なども、ゴッドあるいはヘブンが原語として知られている。東西いずれが先かは簡単に決められないものがあるろう。さらに天または神とも訳せるが、造物主の意味のクリエイターではなくメーカーが使われている例はW.チャーチルの75歳の誕生日(11月30日、1951)のスピーチにみられるのが印象的である。

On His 75<sup>th</sup> Birthday

I am ready to meet my Maker. Whether my Maker is prepared for the great ordeal of meeting me is another matter.

SPEAKING ON NOVEMBER 30, 1951

わたしは神のお召しに

悦んで応ずる覚悟である。

たとえ 紙がわたくしを

召されるにあたり

大なる試練を用意されたか

否かは わたくしの問うところではない。

1951年11月30日

ウインストン・チャーチル

### (2) 武士道と死

『広辞苑』によると、武士道とは

「わが国の武士階層に発達した道徳。鎌倉時代から発達し、江戸時代に儒教に裏付けられて大成、封建支配体制の観念的支柱をなした。忠誠、犠牲、信義、廉恥、礼儀、潔白、質素、儉約、尚武、名誉、情愛などを重んずる」と解説されている。

一言でいえば「武士の掟」であり、佐賀の『葉隠聞書』の「武士道は死ぬこと見付けたり」という有名な言葉で象徴される。いかにも、過酷な掟であるが、その一面、武士の社会的権威を高めたものとなった。武士といえば、誰でも切腹を想起するが、自殺(自尽)方法としては、必ずしも武士固有のものでは無いようである。江戸時代になって、武士に対する切腹刑は例えば赤穂浪士討ち入り事件の処置としてのそれはあまりにも周知の事である。そこには、多分に儀式的要素が加わり、単なる死罪よりも、ひとつの名誉ある処置と受け止められたようである。

殉死というのは、主人の死去に際し、生前身近に仕えていた家来が自殺することである。

森鷗外の短編『興津弥五右衛門の遺書』はこの問題を描いている。また、鷗外作の名品『阿部一族』は、殉死を無許可のまま、敢えてした武士を巡るその一族が予想外な困難な状況におかれ、権威と秩序への無残なる反抗を描いた歴史小説であり、武士の原型があるようである。なお、將軍乃木希典(まれすけ、64歳)が1912年、明治天皇大喪儀式の日に、妻静子(54歳)とともに自刃したのは殉死と言える。

幕末の最高官僚で、国際的外交家と見直されている川路聖謨(としあきら)は江戸開城を聞き、自決(作法どおりに腹を浅く切って、ピストルで喉を撃つ)している。幕府に殉じた例外的幕臣と言ふべきか。私は最近この伝記を中野好夫の『伝記文学の面白さ』(岩波書店、1995年)から教えられ感動した。

武士の自刃という行為が続発した事例がある。その多くは私憤ではなく、公憤あるいは忠憤とみるべきもので、いわゆる悲憤慷慨の果てにいわば連鎖的に生じたものである。

今から考えるとまことに惜しむべきで、死に急ぐ人々の印象を否定できない。

例えば、安政5(1858)年日米条約調印の問題などから、水戸藩主斉昭らが幕府から謹慎を命ぜられ、さらに締結不満の勅諭を水戸藩に下したことに幕府が反発したことなどに絡み、9月に憤激した水戸士民の初回大挙南発(江戸に向けての

集団でもというべきか)があった。その多くが小金駅に屯集を繰り返している。その間、死を以てその志を示すものが続発し、『水戸藩史料』(上編坤)の記載を数えると、9月半ばまでに少なくとも10名に達している。その当時の大老は井伊直弼であり、蔓延元年の「桜田門外の変」の伏線の一つとも言えそうである。その当時の水戸士民の集団心理は想像に難くない。

### (3) 戦死ということ

戦死とは戦闘で死ぬこと、討死と同じである。厳密には戦傷死、戦病死に分けられる。

古くから、君の馬前で討死することは名譽とされた。私の通った旧制中学の大講堂に「盡忠報国」の途轍もなく大きい拓本が壁に掲げられていたことを記憶している。戦前の教育の根幹は言うまでもなく「教育勅語」(1890、明治23年)で、修身の時間には必ず暗唱させられたことは、思えば懐かしい(小学校4年生からか)。一方、軍人に対しては、1882年に発布された「軍人勅諭」がある。その前文では天皇が大元帥として軍の統率にあたること、軍人(股肱)は天皇(頭首)に絶対的忠誠を捧げることが強調され、後半で、忠節、礼儀、武勇、信義、質素の五徳目が示されていた。いわゆる上官の命令は天皇陛下の命令であると、言い換えられ乱用されたことの根拠はこの辺にありそうである。

その他、1941年に東条英機陸相名で、全陸軍に下された「戦陣訓」は戦時下の将兵の心得とされたが、果たしていかなる効果があったかは判断ができない。戦後50年の今、問題化している南京大虐殺事件は、1937年のことであり、従軍慰安婦の件は1941年以後にも関連ありそうである。太平洋戦争における玉砕とか英霊の美辞も徒に、空しい響きを残すのみである。

戦死者はお国のために死んだはずであるが、それを侵略という言葉で犬死させてもよいものであろうか。遺族の悲しみは尽きることなく、上に立つものの無責任はまことに無念と言わざるを得ない。

お国のためということとは、教育勅語の中に「一旦緩急あれば義勇公に奉じ」という箇所に相当すると思うが、子供の頃はその意味を知らずに唱えていた。問題は「公」という表現の曖昧さである。というのは、その頃奉公にゆくというのは、丁稚奉公にゆくというように、他家にすみこんで働く事であった。

また、奉公袋という木綿の小袋が在郷軍人の家庭には配られていて、いざ招集というときの備品をいれておくものであった。辞書によると、奉公とは朝廷や国家社会のために力を尽くすことが第一義といてある。すなわち、「公」はお上という意味に使われるのである。さらに、頼朝公であるとか、近衛公爵というように、偉い人にも使われる。したがって、いささか余談となるが、私の専門とした公衆衛生という言葉が誤解されて「公と衆の

衛生」というように思われたことがある。原語は英語のパブリック・ヘルスというのを公衆衛生と訳したことに疑念がある。もともと、わが国にはプライベートに対するパブリックという概念が無いからである。そのために、外地における日本人のパブリックな場所での行儀の悪さの一因であると考えられよう。私室は分かるが、公室という表示は誰でも入ってよいという意味ではないと思う。

### (4) 霊(魂)について

わが国の「お盆」というのは、祖先の霊を迎え、供養する民俗的仏教行事である。

迎え火、送り火、魂祭り、精霊流しなど各地にさまざまな習俗が残っている。残念ながら我が家は神式なので、よそさまのなさることをただ眺めていた思い出がある。信ずる、信じないは別として、死者の霊魂を亡霊あるいは幽霊と言うが、子供の頃はお化けや幽霊は怖かった。見世物のお化け(妖怪変化、ろくろ首など)や、講談や落語に出る幽霊の存在に疑いをあまり持たなかった気がする。なお、幽霊とは生前の姿をして現れるという現象で、特定の人の前に時を選ばず現れるということは、成人してから了解したことで、子供の頃はお化けも幽霊も区別を知らなかった。現在、我が家にある落語カセットの中で、幽霊と関係がある演じ物を探したら『三年目』(円生)、『壺』(円歌)、『反魂香』(可楽)、『野ざらし』(柳好)、『死神』(小三治)などが見付かった。

庶民にとって、愛すべき幽ちゃんの話は割と手近にあったようである。ともかく、柳の下で、両手を前にし足が見えない幽霊は誰でもよくみる図であった。歌舞伎でしばし上演される『四谷怪談』、『牡丹灯籠』などはご承知のごとく、三遊亭円朝(明治33年8月11日没、62歳)の原作で、怪談ばなしとして好評を博したものの劇化である。怪談ばなしにでてくる幽霊は、恨んだ加害者だけに祟るので、第3者には無害であるのが取り柄で、消夏の慰みとして好まれたのであろう。ただ、怪談の出所は必ずしもわが国古来のものではなく、中国の故事や西洋由来のものがあるのは面白い。科学的根拠はともかく、亡霊のようなものは勧善懲悪という人民教化にも役立つものがあつた。

ところで、因縁ばなしめくが、先に述べた円朝師の墓は台東区谷中の全生庵(ぜんせいあん)にあり、奇しくも仮称全生学と符合し、いささか恐縮している(全生庵は臨済宗の寺で、明治の剣聖といわれた山岡鉄舟の墓もある)。その寺名の由来は知らないが、『大字源』(角川書店)によると、「全生とは生命を完全に保つ」、「荘・養生主」、「神代紀・下」と出ていることを付記しておく。私の勝手に命名した「全生学」には、何か新しい意義を持たせたいと思う。その思索の過程である。

### (5) 本望(ほんもう)です

日本人の好きな言葉に、本望というのがある。本来ののぞみ、もとからの志し、本懐などの意味である。響きがいいのでよく使われる。例えば、

「負けても、甲子園にゆけたから本望です」とか、「好きな山で死んだのは、本望でしょう」などとその家族が述べる。これは我々の考え方なりメンタリティを暗示しているようだ。前者ではその時点で、当人は納得し、自らを慰める。後者の場合は、残念であるが、死者を非難せず、その人の運命を是認するニュアンスを感じる。恐らく、その根源は諦めるという仏教的なものがありそうで、われわれの生死感の底層に位置していないか。クリスチャンならどう評するか聞いてみたい。諦めることは、悲惨な環境にあっての大切な安全弁である。諦めることのできる人は幸せであり、諦めずに反社会的行動に走る人は不幸ではないか。

しかし、「本望です」ということは、いささか個人的なことで、批判の余地が無いわけではない。要するに、何が本望なのかが問題である。登山家が山で遭難死したとき、当人は本望かもしれないか、捜索なのに大きな迷惑をかける心配が残る。したがって、場合によっては利己的すぎる本望は周りの者から見ると、困るといえる。この本望という言葉のいかに英訳すべきかが気になる。これは、外人に日本人を誤解させないために必要であり、識者のご教示をお願いする。

の時間の守屋先生、よろしくお願い致します。

吉川君 先日の夜間例会、お休み致し申し訳なく思っております。

結婚記念日 稲見君

2014～2014年度 ニコニコ累計額	967,000円
------------------------	----------

ニコニコボックス



稲見君 守屋パスト会長、卓話よろしく申し上げます。寶積パスト会長、3分間スピーチ楽しみです。

江原君 先週の夜間例会はご家族の皆様にもご参集頂き、盛大に催されましたこと、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。また、本日のパスト会長の卓話楽しみにしております。よろしくお願い致します。

浜野君 長い間お休みしまして申し訳ありません。青森ねぶたは大変素晴らしかったです。吉川さんも昔「はねと」で飛んでいたそうです。

寶積君 本日、3分間スピーチをやらせて頂きます。

宮野君 先週、大切な夜間例会をお休みしました。多分、もっと大切な用事があったのだと思いますが、何か良く憶えていません。

奥富君 守屋パスト会長、卓話よろしく申し上げます。早退します。済みません。

坂本君 3分間スピーチの寶積先生、パスト会長

### 次の例会

第2副SAA 宮岡君 守屋君

9月9日(火) 12:30～14:00

外来卓話

参議院議員 中山恭子様

『国想い、夢紡ぎ』

